



シュヴァイツァーホフの象徴である塔には、誇らしくスイス国旗が掲げられている



中世からの重厚な石造りのアーケードの一角にあるメインエントランス



メインダイニング「Jack's Brasserie」はレトロ感覚のブラスリーで、唯一ここだけがホテル創業時の雰囲気を残している



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健剛代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

## ホテル シュヴァイツァーホフ ベルン Hotel Schweizerhof Bern

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



スイス連邦の首都ベルン、そのベルン駅前に圧倒的存在感で建つ「Hotel Schweizerhof Bern」。スイス国内に数あるホテルの中で屈指の歴史を誇る名門ホテルである



洗練された空間のロビーラウンジ

シュヴァイツァーホフの長い歴史が物語る重厚な佇まい



驚くほどのスタイリッシュなデザイン感覚のレセプションデスク



本格派のシガーが楽しめる大人の空間「Cigar Lounge」



「Lobby-Lounge-Bar」では、日本人シェフの握るすしとシャンパンのコラボが人気だ



ユニークなルーフトップ・テラス「Sky Terrace」。スイス連邦国会議事堂が目の前に望める



アーバンコンテンポラリー感覚のモダンな「Deluxe Room」。上層階にあり、約40㎡の広さを持つ客室で、窓からは世界遺産ベルン旧市街の美しい風景を眺められる



ジェットバスが付いたスタイリッシュなバスルーム。客室内は伝統とモダンを調和させた気品あるインテリアで統一

スイス連邦の首都ベルン、そのベルン駅前に圧倒的存在感で建つホテルがある。その名は「Hotel Schweizerhof」。スイス国内に数あるホテルの中で屈指の歴史を誇る名門ホテルである。すでに18世紀から「Hotel Fetzter」または、ベルンを治めた「Zähringer 家」の名を冠して「Zähringerhof」として欧州中に知られた老舗ホテルは、1859年にその名を「ホテル シュヴァイツァーホフ」「Hotel Schweizerhof Bern」に変更する。1913年にホテルは建て替えられたが、150年以上にわたって多くの歴史的なストーリーと共に時を刻み、スイスを代表する老舗名門ホテルとしての地位を確立した。ホテルは新しい時代の要請を受け、2009年に大改修を断行し、11年4月に待望の再オープンを果たした。

ベルンはスイス連邦の首都でありながら、その規模はスイス4番目の小さな街だ。大きく湾曲するアーレ川に囲まれた土地を生かしてツェーリング公ベルトルト5世により町造りが始まった。13世紀から自由都市となり発展して来た麗しき旧市街は、1983年にユネスコの世界文化遺産に登録されている。大聖堂や13世紀の城門につくられた時計塔、彫像が美しい泉（水飲み場）が点在する街並みを残す一方で、スイス連邦の首都として近代都市のハイテク機能も兼ね備え、質の高い美術館や博物館も多い。

シュヴァイツァーホフは長い歴史が物語る重厚な外観に対して、館内は驚くほどのスタイリッシュなデザインで統一され、スイートを含め全99室を擁している。洗練された空間のロビーラウンジ奥には「Lobby-Lounge-Bar」があり、日本人シェフの握るすしとシャンパンのコラボが人気だ。筆者にアサインされた部屋は約40㎡の「Deluxe Room」で、上層階の客室から古都ベルンの街並みが望める。メインダイニング「Jack's Brasserie」はレトロ感覚のブラスリーで、唯一ここだけが創業時の雰囲気を残している。「Sothys」ブランドがプロデュースするスパは最新のウェルネスエリアが好評だ。その他、ユニークなルーフトップ・テラス「Sky Terrace」や本格派のシガーが楽しめる大人の空間「Cigar Lounge」なども用意されている。

ベルン旧市街の大通り両側には中世からの重厚な石造りのアーケードが6kmにわたって続く。そのため、シュヴァイツァーホフもアーケードの一角に控えめにメインエントランスを置いている。駅前に立地し、世界遺産の古都の見どころを歩いて回れ、しかも、雨の日も傘なしでショッピングを楽しむことができるという、利便性と prestéige 性を見事に兼ね備えた貴重なホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選  
ホテルジャーナリスト  
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ  
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

